

# 「宗教教育に関するアンケート」報告書

井上 順孝

国学院大学日本文化研究所

1993年1月

## 目次

はしがき	2
I. 回答者の概要	3
1. 回答者数	3
2. 回答者の性別	3
3. 回答者の学年	3
4. 宗教系の中学・高校に通った者の割合	3
5. 宗教系の大学に通っている者の割合	3
II. 宗教系の中学・高校に通った者の分析	4
1. 宗教系の学校に通ったことによる効果	4
2. 何が印象に残ったか	4
3. 宗教の授業の効果	5
4. 中学・高校でどんな授業があったらいいか	6
III. 宗教系の大学に通っている者の分析	8
1. 受験前に宗教系の大学であることを知っていたか	8
2. 宗教系であることは受験意欲にどう関係したか	8
3. 大学に宗教的色彩を感じるか	8
IV. 宗教への関心	9
1. 日本人はどんな宗教を信じていると思っているか	9
2. 宗教への関心度	10
3. どんな宗教を信じているか	11
4. 宗教にどんな形で関心を示すか	12
5. 宗教を信じていない理由	12
V. 超常現象・神秘的現象などへの関心	13
1. 関心の度合い	13
a. スプーン曲げ	14
b. 宜保愛子の霊視	15
c. 死後の世界の存在	16
d. 星占い	17
e. ノストラダムスの予言	18
2. どのような情報に関心をもつか	19
VI. 全体的分析	22
あとがき	23

## は し が き

ここに収められたデータは、国学院大学日本文化研究所のプロジェクト「宗教と教育に関する調査研究」によるアンケート調査の結果をまとめたものである。このアンケートは1992年6月～9月にかけて、首都圏を中心に全国32大学で実施され、4005名分の有効回答を得た。

調査は各講義への出席者を対象として行なわれた。また、大学の選定は、宗教系の大学に関してはある程度バランスを考慮したが、それ以外については、主に配付・回収上の便宜的な面を考慮した。また、講義科目は人文科学・社会科学系の一般教養科目や専門科目に限られている。したがって回答した学生の大半は、文科系の学部にも所属している。また1、2年生が約8割を占める。その意味での偏りはあるが、データ数からしても、現代の大学生の宗教意識などを類推する上で、十分参考になる調査と考える。

今回の調査の主な目的は、次の点に関するデータを得ることにあつた。

- ① 中学・高校における宗教教育が、どのように受け止められているか。
- ② 宗教系の中学・高校に通った者とそうでない者との間で、宗教意識に違いがあるか。
- ③ 宗教系の大学に在籍する者とそうでない者との間で、宗教意識に違いがあるか。
- ④ 大学生が宗教や超常現象・神秘的現象などに関する情報をどこから得、どのような事柄に関心を持っているか。

設問は合計で、44項目（うち14項目は、該当者のみの回答項目）。回答方式は大半が選択回答であるが、一部は自由回答である。今回集計したものは、選択回答の分に限られる。大学ごとの比較など、より細かなデータ紹介や分析、及び自由回答の集計結果・分析については、1993年度に刊行される『国学院大学日本文化研究所紀要』等に報告の予定である。関心をお持ちの方は、合わせて参照していただければ幸いである。

プロジェクト代表者	井上順孝	（国学院大学日本文化研究所教授）
分担者	磯岡哲也	（淑徳大学助教授）
	岩井 洋	（国学院大学日本文化研究所研究員）
	佐々木裕子	（国学院大学日本文化研究所研究員）
	武田道生	（大正大学講師）
	田島忠篤	（明の星女子短期大学講師）
	津城寛文	（城西大学女子短期大学部助教授）

# I. 回答者の概要

## 1. 回答者数

総回答者	4 3 6 6 名
有効回答者	4 0 0 5 名 (91.7%)

※すべての項目に矛盾なく記載した回答、及び微細な記入漏れ・ミス等にとどまる回答を有効回答とした。

## 2. 回答者の性別

男性	1 7 2 4 名 (43.0%)
女性	2 2 7 4 名 (56.8%)
無回答	7 名 (0.2%)

## 3. 回答者の学年

1 年生	2 1 8 2 名 (54.5%)
2 年生	1 0 2 7 名 (25.6%)
3 年生	5 8 1 名 (14.5%)
4 年生	1 9 4 名 (4.8%)
無回答	2 1 名 (0.5%)

## 4. 宗教系の中学・高校に通った者の割合

宗教系の中学校卒業生	2 6 3 名 (6.6%)
宗教系の高校卒業生	6 2 9 名 (15.7%)
いずれかが宗教系	6 3 8 名 (15.9%)
中学・高校とも宗教系	2 5 4 名 (6.3%)

※宗教系の中学校を卒業した者は、高校もほとんど宗教系を卒業している。これは、宗教系の学校に、中高一貫教育が多いのが一因と考えられる。

※宗教系の高校に通った者の方が多いのは、宗教系の高校自体が多いことを反映している。

※中学・高校のいずれかが宗教系であった者(638名)を、以下「宗教系中高」と表現することにする。

## 5. 宗教系の大学に通っている者の割合

	[全体]	[宗教系中高卒]
宗教系大学	2 3 6 3 名 (59.0%)	5 4 2 名 (85.0%)
非宗教系大学	1 6 2 9 名 (40.7%)	9 5 名 (14.9%)
無回答	1 3 名 (0.3%)	1 名 (0.2%)

※宗教系中高の卒業生は、宗教系大学に進学する割合が非常に高くなる。

## Ⅱ．宗教系の中学・高校に通った者の分析

### 1. 宗教系の学校に通ったことによる効果

設問：「宗教に関係した学校に通った事で、その宗教を信じようと思ったことがありますか」

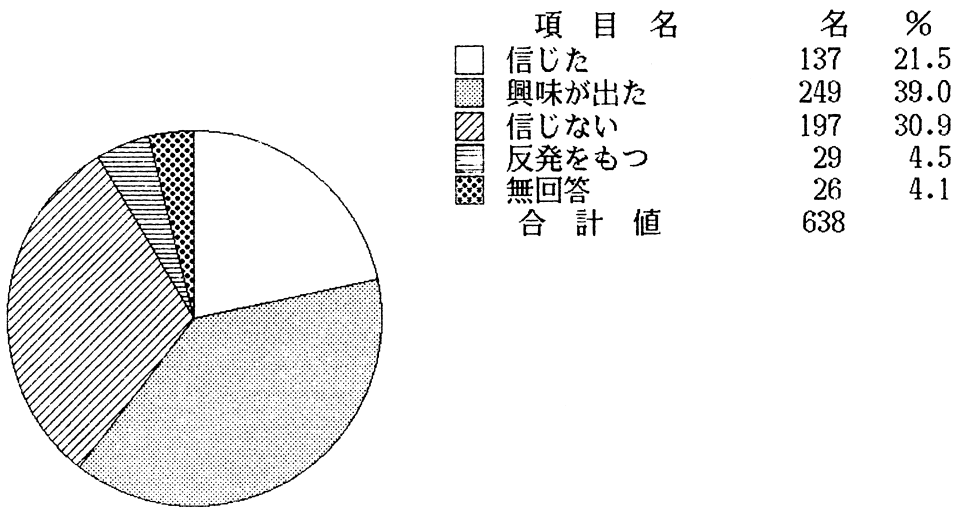
宗教系中高の回答者（638名）について集計

信じるようになった	137名（21.5%）
興味をもったが、信じるまではいかなかった	249名（39.0%）
とくに信じようと思ったことはない	197名（30.9%）
かえって反発を感じた	29名（4.5%）
無回答	26名（4.1%）

※信じるようになった者の中には、少数であるが、もともと信仰をもっていたという者も含まれる。それでも2割強というのは、予想した以上の割合であった。ただし、宗教系の学校に通わせる両親の宗教という要素もあるので、この数字をただちに学校における教育の成果と結論することはできない。

※4割近くが興味を抱いており、反発を感じた者は少ない。

[グラフ1]



## 2. 何が印象に残ったか

設問：「学校でみかけた宗教に関するもののうち最も印象に残ったものを一つあげてください」

選択肢順の回答者数・割合

礼拝堂	203名(31.8%)	神社	14名(2.2%)
仏間	58名(9.1%)	神主	9名(1.4%)
仏像	50名(7.8%)	宗教的絵画	14名(2.2%)
十字架	28名(4.4%)	記念碑	4名(0.6%)
マリア像	58名(9.1%)	その他	53名(8.3%)
イエス像	3名(0.5%)	とくに印象に残ったものはない	75名(11.8%)
シスター	22名(3.4%)	無回答	17名(2.7%)
牧師・神父	21名(3.3%)		
僧侶	9名(1.4%)		

※建造物(礼拝堂、仏間、神社)が275名(43.1%)でもっとも多く、次いで、像や記念碑の類(仏像、十字架、マリア像、イエス像、宗教的絵画、記念碑)が157名(24.6%)でそれに次ぐ。

※人物(シスター、牧師・神父、僧侶、神主)に印象をもった者が、61名(9.6%)にとどまっているのが興味深い。印象が薄いということであろうか。

## 3. 宗教の授業の効果

設問：「授業が宗教についての理解や関心を深めるのに役立ったと思いますか」

①中学校で宗教の授業があった者(208名)

大変役立った	51名(24.5%)
少し役立った	92名(44.2%)
どちらとも言えない	37名(17.8%)
あまり役立たなかった	17名(8.2%)
まったく役立たなかった	10名(4.8%)
分からない	3名(1.4%)

②高校で宗教の授業があった者(501名)

大変役立った	112名(22.4%)
少し役立った	208名(41.5%)
どちらとも言えない	94名(18.8%)
あまり役立たなかった	46名(9.2%)
まったく役立たなかった	26名(5.2%)
分からない	18名(3.6%)

※中高とも、約3分の2の回答者が、「宗教」の授業が宗教についての理解や関心を深めるのは、多少なりとも役立ったと答えている。

※宗教の授業が、知識教育としては、一定の意味をもつと受け止められている。

#### 4. 中学・高校で、どんな授業があったらいいか

設問：「次のような内容の授業は、中学校や高校の授業の一環として、あってもいいと思いますか、それとも必要ないと思いますか」

- a. 仏教、キリスト教、イスラム教など、主要な宗教についての基礎的知識を教わる
- b. 福祉活動や、社会文化活動等を熱心にやっている人の話を聞く
- c. 牧師、神父、僧侶、神主などをゲストに呼び、話を聞く

##### ①全体

###### 「宗教の基礎的知識」

あってもいい	2 6 2 8 名 (65.6%)
必要ない	1 1 3 5 名 (28.3%)
無回答	2 4 2 名 (6.0%)

###### 「福祉活動等の話」

あってもいい	2 9 4 3 名 (73.5%)
必要ない	8 1 7 名 (20.4%)
無回答	2 4 5 名 (6.1%)

###### 「牧師等の話」

あってもいい	1 4 4 8 名 (36.2%)
必要ない	2 3 0 7 名 (57.6%)
無回答	2 5 0 名 (6.2%)

##### ②宗教系中高の卒業生（638名）と、非宗教系中高の卒業生（3364名）の比較

###### [宗教系中高]

###### [非宗教系中高]

###### 「宗教の基礎的知識」

あってもいい	3 7 8 名 (59.2%)	2 2 4 9 名 (66.9%)
必要ない	7 9 名 (12.4%)	1 0 5 4 名 (31.3%)
無回答	1 8 1 名 (28.4%)	6 1 名 (1.8%)

###### 「福祉活動等の話」

あってもいい	3 6 9 名 (57.8%)	2 5 7 1 名 (76.4%)
必要ない	8 7 名 (13.6%)	7 3 0 名 (21.7%)
無回答	1 8 2 名 (28.5%)	6 3 名 (1.9%)

###### 「牧師等の話」

あってもいい	2 5 3 名 (39.7%)	1 1 9 4 名 (35.5%)
必要ない	2 0 2 名 (31.7%)	2 1 0 3 名 (62.5%)
無回答	1 8 3 名 (28.7%)	6 7 名 (2.0%)

※宗教系中高の卒業者は、宗教の基礎的知識や福祉活動等の話に関しては、非宗教系中高の卒業者より、あってもいいという回答の比率が低いですが、これは無回答者が多いためである。それを除いて考えると、わずかではあるが、前者の方が、やや高い比率となる。

※宗教家の話には、宗教系の学校の卒業者の方が興味をもっている。

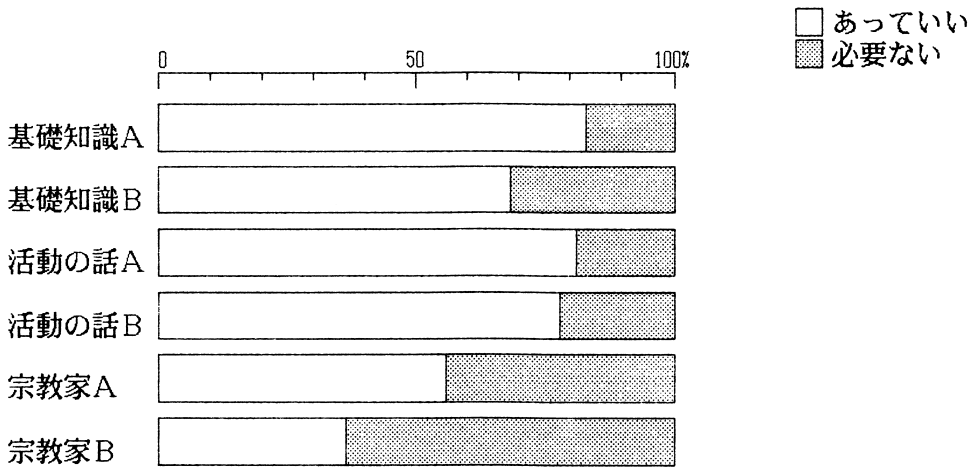
※宗教系の学校の卒業者に、無回答が多いのは、理由がはっきりしない。単純な記載漏れである可能性も高い。

※全体に、宗教そのものについての話より、社会活動一般についての話の方が大事であると考えているが、とくに非宗教系の学校の卒業者の場合、それが顕著である。

[グラフ2]

A : 宗教系中高の卒業者

B : 非宗教系中高の卒業者



### Ⅲ. 宗教系の大学に通っている者の分析

#### 1. 受験前に宗教系の大学であることを知っていたか

宗教系の大学に通っている回答者（2363名）について集計

	[全体]	[宗教系中高校の卒業者]
知っていた	2163名(91.5%)	527名(82.6%)
知らなかった	177名(7.5%)	13名(2.0%)
無回答	23名(1.0%)	98名(15.4%)

※9割以上の学生が、その大学が宗教と関係あることを知って受験している。

#### 2. 宗教系であることは受験意欲にどう関係したか

宗教系であると知っていた回答者（2163名）について集計

	[全体]	[宗教系中高校の卒業者]
宗教に関係していることで 入学意欲が増した	326名(15.1%)	107名(16.8%)
多少気になったが入学する ことにした	307名(14.2%)	40名(6.3%)
別に気にしなかった	1529名(70.7%)	378名(59.2%)
無回答	1名(0.0%)	113名(17.7%)

※受験前は、宗教系であることは、約7割の回答者は、別に気にしていない。

※宗教系であることがプラスに作用した人と、ややマイナスに作用した人の割合は、ほぼ半々である。

※宗教系の中学・高校を卒業した回答者は、宗教系の大学を受験することに、いくらか積極的になる傾向を示している。

#### 3. 大学に宗教的色彩を感じるか

感じる	1579名(66.8%)
感じない	747名(31.6%)
無回答	37名(1.6%)

※宗教系であることを気にしないで入学するが、入学後は、けっこう宗教的色彩が気になるようである。

※宗教的色彩が感じられる場合、その印象を自由回答で記載させたが、その反応はまちまちである。必ずしも肯定的評価とは限らない。

※中学・高校に比べて、否定的反応がだいぶ増える傾向にある。とくに必修科目の授業に対する批判が多い。



## IV. 宗教への関心

### 1. 日本人はどんな宗教を信じていると思っているか。

設問：「あなたは、もし外国人から『日本人はどんな宗教を信じていますか』と聞かれたら、どう答えますか」

#### ①全体

仏教を信じている人が多い	1 2 5 9 名 (31.4%)
神道を信じている人が多い	5 6 名 ( 1.4%)
キリスト教を信じている人が多い	1 0 名 ( 0.2%)
複数の宗教を信じている人が多い	7 2 6 名 (18.1%)
宗教を信じていない人が多い	1 0 5 5 名 (26.3%)
分からない	4 8 0 名 (12.0%)
その他	3 5 8 名 ( 8.9%)
無回答	6 1 名 ( 1.5%)

#### ②中学もしくは高校が宗教系であった者(638名)とそうでない者(3364名)との違い(それぞれの回答者の中での割合)

	[宗教系]	[非宗教系]
仏教を信じている人が多い	1 8 8 名 (29.5%)	1 0 6 9 名 (31.8%)
神道を信じている人が多い	1 0 名 ( 1.6%)	4 6 名 ( 1.4%)
キリスト教を信じている人が多い	4 名 ( 0.6%)	6 名 ( 0.2%)
複数の宗教を信じている人が多い	1 1 1 名 (17.4%)	6 1 4 名 (18.3%)
宗教を信じていない人が多い	1 7 9 名 (28.1%)	8 7 6 名 (26.0%)
分からない	6 2 名 ( 9.7%)	4 1 8 名 (12.4%)
その他	6 0 名 ( 9.4%)	2 9 8 名 ( 8.9%)
無回答	2 4 名 ( 3.7%)	3 7 名 ( 1.1%)

#### ③宗教系大学の回答者(2363名)とそうでない回答者(1629名)との違い(それぞれの回答者の中での割合)

	[宗教系]	[非宗教系]
仏教を信じている人が多い	6 5 1 名 (27.5%)	6 0 5 名 (37.1%)
神道を信じている人が多い	3 4 名 ( 1.4%)	2 1 名 ( 1.3%)
キリスト教を信じている人が多い	9 名 ( 0.4%)	1 名 ( 0.1%)
複数の宗教を信じている人が多い	4 5 7 名 (19.3%)	2 6 6 名 (16.3%)
宗教を信じていない人が多い	6 6 3 名 (28.1%)	3 9 0 名 (23.9%)
分からない	2 5 2 名 (10.7%)	2 2 7 名 (13.9%)
その他	2 4 1 名 (10.2%)	1 1 4 名 ( 7.0%)
無回答	5 6 名 ( 2.4%)	5 名 ( 0.3%)

※厳密に言えば、正解は、「宗教を信じていない人が多い」であるが、「仏教を信じている人が多い」「複数の宗教を信じている人が多い」も間違いとは言えない。

※宗教系の中学・高校に行ったかどうか、宗教系の大学に在籍しているかどうかによって、回答内容にあまり差がないことが特徴である。宗教教育を受けようが受けまいが宗教に関する社会学的な知識はそれほど違いがないということになる。

※強いて言えば、宗教系の大学に通う者は、仏教の影響を若干小さく見ているということが指摘できる。

## 2. 宗教への関心度

設問：「宗教についてのあなたの関心は、次のどれにあてはまりますか」

### ①全体

特定の宗教を信じている	7 1 0 名 (17.7%)
特定の宗教を信じてはいないが 宗教には関心がある	1 5 3 1 名 (38.2%)
宗教を信じていないし、関心もない	1 7 4 8 名 (43.6%)
無回答	1 6 名 (0.4%)

### ②性別による比較 (男性 1 7 2 4 名 : 女性 2 2 7 4 名)

	[男性]	[女性]
特定の宗教を信じている	3 9 7 名 (23.0%)	3 1 1 名 (13.7%)
特定の宗教を信じてはいないが 宗教には関心がある	6 3 7 名 (36.9%)	8 9 2 名 (39.2%)
宗教を信じていないし、 関心もない	6 8 5 名 (39.7%)	1 0 6 0 名 (46.6%)
無回答	5 名 (0.3%)	1 1 名 (0.5%)

### ③宗教系中高の回答者 (6 3 8 名) と、非宗教系中高の回答者 (3 3 6 4 名) の比較

	[宗教系中高]	[非宗教系中高]
特定の宗教を信じている	1 7 1 名 (26.8%)	5 3 8 名 (16.0%)
特定の宗教を信じてはいないが 宗教には関心がある	2 6 6 名 (41.7%)	1 2 6 4 名 (37.6%)
宗教を信じていないし、 関心もない	1 9 8 名 (31.0%)	1 5 4 9 名 (46.0%)
無回答	3 名 (0.5%)	1 3 名 (0.4%)

### ④宗教系大学の回答者 (2 3 6 3 名) と非宗教系大学の回答者 (1 6 2 9 名) の比較

	[宗教系]	[非宗教系]
特定の宗教を信じている	5 2 3 名 (22.1%)	1 8 4 名 (11.2%)
特定の宗教を信じてはいないが 宗教には関心がある	9 4 4 名 (39.9%)	5 8 3 名 (35.7%)
宗教を信じていないし、 関心もない	8 8 4 名 (37.4%)	8 5 8 名 (52.6%)
無回答	1 2 名 (0.5%)	4 名 (0.2%)

※宗教に対する態度は、宗教系の学校に通った者、あるいは通っている者とそうでない者とはかなり違う。

※宗教系の大学と非宗教系の大学とでの違いは、創価大学の学生 (2 4 1 名)、天理大学の学生 (7 3 名) が含まれていることによる影響が大きい。両大学の学生は大半がそれぞれ、創価学会、天理教を信じているからである。

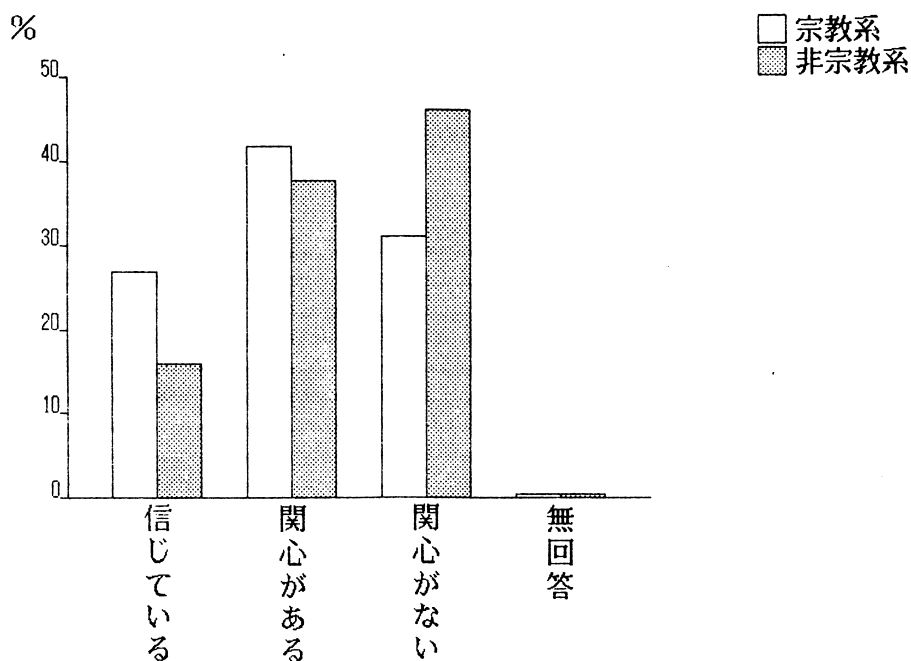
※中学・高校でも、宗教系と非宗教系の間で、だいぶ違いが見られる。宗教系の方が、全体として、宗教を信じたり関心をもったりする傾向が顕著である。

※非宗教系の大学での回答が、ある程度、現在の大学生の状況を反映していると思われる。そうすると、宗教を信じている学生は、1 割強、関心がある学生が 3 5 %、過半数が宗教を信じていないし、関心もないと推測される。

※性別による比較では、特定の宗教を信じているという回答が男性に多いが、これも創価大学と天理大学の影響がいくらかある。両大学での回答者の大半は、男性であったからである。

しかしながら、非宗教系大学だけで集計しても、若干ながら、男性の方が宗教に対し関心を抱いている傾向がうかがえる。

[グラフ3]



### 3. どんな宗教を信じているか

宗教をもっていると答えた人（710名）についてのみ集計

非宗教系の大学だけの場合（1629名）と比較

	[710名中の割合]	[全体での割合]	[非宗教系大学]
神道	81名 (11.4%)	(2.0%)	9名 (0.6%)
仏教	201名 (28.3%)	(5.0%)	80名 (4.9%)
キリスト教	86名 (12.1%)	(2.1%)	20名 (1.2%)
創価学会	250名 (35.2%)	(6.2%)	61名 (3.7%)
天理教	56名 (7.9%)	(1.4%)	1名 (0.1%)
その他	28名 (3.9%)	(0.7%)	10名 (0.6%)
無回答	8名 (1.1%)	(0.2%)	3名 (0.2%)

※宗教系の大学に回答者が多いから、この数字が、現代の大学生の信仰状況を反映しているとは言えない。

※非宗教系大学に限ってみると、キリスト教が1%強、創価学会が4%弱で、他の調査の結果等とそれほど違いはない。

#### 4. 宗教にどんな形で関心を示すか

特定の宗教を信じてはいないが、宗教に関心があると答えた人（1531名）についてのみ集計（複数回答可）

非宗教系の大学だけの場合と比較

	[1531名中の割合]	[全体]	[非宗教系大学]
いろいろな宗教に関心をもち 情報を集める	543名(35.5%)	(13.6%)	172名(10.6%)
聖書や仏典など、宗教書を読む のが好きである	221名(14.4%)	(5.5%)	69名(4.2%)
今は特定の信仰をもたないが 気に入った宗教があれば 入信してもいいと思っている	79名(5.2%)	(2.0%)	33名(2.0%)
宗教団体には所属したくない が宗教的な感情は大事に したいと思っている	1060名(69.2%)	(26.5%)	410名(25.2%)

※特定の宗教を信じてはいないが、宗教に関心があるという回答者の間では、宗教系の大学と非宗教系の大学とでそれほど大きな差はない。

※宗教的な感情は大事にしたいという答えが、約4分の1を占める。1割の人も宗教的な情報には関心がある。ここらあたりが、昨今の宗教情報ブームと関係があるかもしれない。

#### 5. 宗教を信じていない理由

宗教を信じていない人（1748）についてのみ集計（複数回答可）

非宗教系の大学だけの場合と比較

	[1748名中]	[全体での割合]	[非宗教系大学]
とくに宗教に接する機会 がなかった	414名(23.7%)	(10.3%)	205名(12.6%)
自分には必要ない	558名(31.9%)	(13.9%)	261名(16.0%)
宗教には悪いイメージがある	230名(13.2%)	(5.7%)	110名(6.8%)
宗教に関する嫌な体験がある	45名(2.6%)	(1.1%)	15名(0.9%)
特に理由はない	831名(47.5%)	(20.7%)	424名(26.0%)
その他	90名(5.1%)	(2.2%)	41名(2.5%)

※自分には必要ないとか、悪いイメージ、嫌な体験があるという、積極的に宗教と距離をとろうとする、いわば宗教否定派は、全体の2割程度である。

※非宗教系の大学だけでみても、宗教否定派は4分の1弱である。

※宗教を信じていない回答者の多くは、特に積極的な理由をもたないと言える。

## V. 超常現象・神秘的現象などへの関心

### 1. 関心の度合い

設問：「あなたは、次のa～eの事柄について、どの程度信じていますか。それぞれ下の回答群（1～5）の中から選んで、番号で答えて下さい」

[事柄]

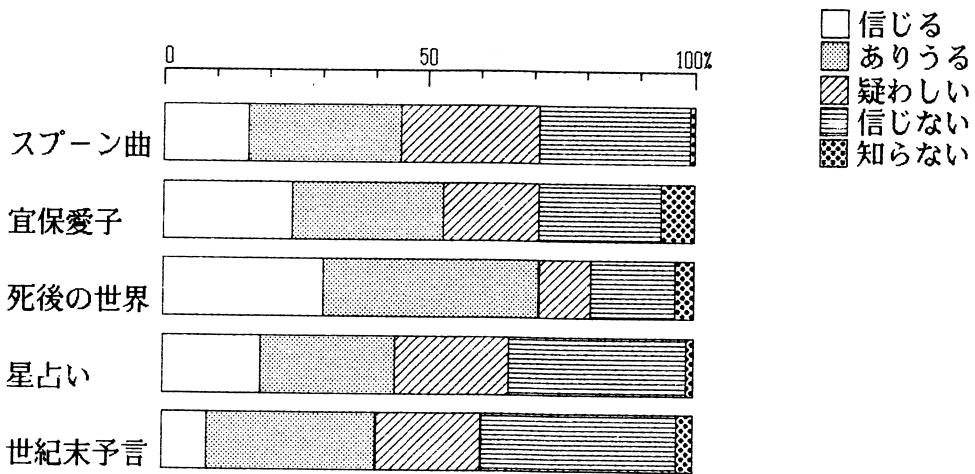
- a. テレビでよくやるスプーン曲げ
- b. 宜保愛子の霊視
- c. 死後の世界の存在
- d. 星占い
- e. ノストラダムスによる、1999年の予言

[回答群]

- 1. 基本的に信じている
- 2. 信じているわけではないが、ありうることだとは思っている
- 3. どちらかといえば、疑わしいと思っている
- 4. 信じていない
- 5. このことについては知らない

それぞれの割合を、宗教系大学の回答者（2363名）と、非宗教系大学の回答者（1629名）とで比較  
 同じく宗教系中高の卒業生（638名）と、非宗教系中高卒業生（3364名）と比較  
 さらに、性別による比較

[グラフ4]



a. 「スプーン曲げ」

①全体の傾向

信じている (A)	6 2 9 名 (15.7%)
ありうる (B)	1 1 4 0 名 (28.5%)
疑わしい	1 0 3 9 名 (25.9%)
信じていない	1 1 3 8 名 (28.4%)
知らない	3 3 名 ( 0.8%)
A + B	1 7 6 9 名 (44.2%)

②宗教系大学と非宗教系大学の比較

	[宗教系大学]	[非宗教系大学]
信じている (A)	3 7 0 名 (15.7%)	2 5 9 名 (15.9%)
ありうる (B)	6 7 3 名 (28.5%)	4 5 1 名 (27.7%)
疑わしい	6 0 8 名 (25.7%)	4 2 8 名 (26.3%)
信じていない	6 8 5 名 (29.0%)	4 4 9 名 (27.6%)
知らない	1 9 名 ( 0.8%)	1 4 名 ( 0.9%)
A + B	1 0 4 3 名 (44.1%)	7 1 0 名 (43.6%)

③宗教系中学・高校と非宗教系中学・高校の比較

	[宗教系中学・高校]	[非宗教系中学・高校]
信じている (A)	8 5 名 (13.3%)	5 4 4 名 (16.2%)
ありうる (B)	1 8 4 名 (28.8%)	9 5 5 名 (28.4%)
疑わしい	1 5 9 名 (24.9%)	8 7 9 名 (26.1%)
信じていない	2 0 0 名 (31.3%)	9 3 7 名 (27.9%)
知らない	8 名 ( 1.3%)	2 5 名 ( 0.7%)
A + B	2 6 9 名 (42.2%)	1 4 9 9 名 (44.6%)

④性別による差

	[男性]	[女性]
信じている (A)	2 7 8 名 (16.1%)	3 5 1 名 (15.4%)
ありうる (B)	4 3 0 名 (24.9%)	7 0 8 名 (31.1%)
疑わしい	3 8 7 名 (22.4%)	6 5 0 名 (28.6%)
信じていない	6 1 2 名 (35.5%)	5 2 3 名 (23.0%)
知らない	1 6 名 ( 0.9%)	1 7 名 ( 0.7%)
A + B	7 0 8 名 (41.1%)	1 0 5 9 名 (46.6%)

※信じている者の割合は、いずれの場合も10数%。

※「信じている」「ありうる」を肯定派、「疑わしい」「信じていない」を否定派と規定すると、全体では、約11：9の比率で、否定派がやや多い。

※宗教系か非宗教系の別、性別によってもほとんど差がみられない。

b. 「宜保愛子の霊視」

①全体の傾向

信じている (A)	9 6 6 名 (24.1%)
ありうる (B)	1 1 3 0 名 (28.2%)
疑わしい	7 1 1 名 (17.8%)
信じていない	9 2 3 名 (23.0%)
知らない	2 4 9 名 ( 6.2%)
A + B	2 0 9 6 名 (52.3%)

②宗教系大学と非宗教系大学の比較

	[宗教系大学]	[非宗教系大学]
信じている (A)	5 3 7 名 (22.7%)	4 2 7 名 (26.2%)
ありうる (B)	6 4 7 名 (27.4%)	4 7 8 名 (29.3%)
疑わしい	4 3 3 名 (18.3%)	2 7 5 名 (16.9%)
信じていない	5 8 9 名 (24.9%)	3 3 1 名 (20.3%)
知らない	1 4 9 名 ( 6.3%)	1 0 0 名 ( 6.1%)
A + B	1 1 8 4 名 (50.1%)	9 0 5 名 (55.6%)

③宗教系中学・高校と非宗教系中学・高校の比較

	[宗教系中学・高校]	[非宗教系中学・高校]
信じている (A)	1 2 3 名 (19.3%)	8 4 3 名 (25.1%)
ありうる (B)	1 7 2 名 (27.0%)	9 5 8 名 (28.5%)
疑わしい	1 1 3 名 (17.7%)	5 9 8 名 (17.8%)
信じていない	1 8 8 名 (29.5%)	7 3 4 名 (21.8%)
知らない	3 9 名 ( 6.1%)	2 0 8 名 ( 6.2%)
A + B	2 9 5 名 (46.2%)	1 8 0 1 名 (53.5%)

④性別による差

	[男性]	[女性]
信じている (A)	3 4 5 名 (20.0%)	6 1 9 名 (27.2%)
ありうる (B)	4 2 7 名 (24.8%)	7 0 1 名 (30.8%)
疑わしい	3 0 3 名 (17.6%)	4 0 6 名 (17.9%)
信じていない	5 5 8 名 (32.4%)	3 6 4 名 (16.0%)
知らない	9 0 名 ( 5.2%)	1 5 9 名 ( 7.0%)
A + B	7 7 2 名 (44.8%)	1 3 2 0 名 (58.0%)

※全体では、信じている者が4人に1人の割合。

※約11：9の比率で肯定派がやや多い。

※非宗教系中高の卒業生、非宗教系大学の在籍の方が、若干信じる割合が多い。

※もっとも差が大きいのは性別によるもので、女性の方が男性より肯定的になる傾向がみられる。

c. 「死後の世界の存在」

①全体の傾向

信じている (A)	1 1 9 9 名 (29.9%)
ありうる (B)	1 6 0 9 名 (40.2%)
疑わしい	3 8 8 名 ( 9.7%)
信じていない	6 3 6 名 (15.8%)
知らない	1 4 0 名 ( 3.5%)
A + B	2 8 0 8 名 (70.1%)

②宗教系大学と非宗教系大学の比較

	[宗教系大学]	[非宗教系大学]
信じている (A)	7 0 9 名 (30.0%)	4 8 5 名 (29.8%)
ありうる (B)	9 4 9 名 (40.2%)	6 5 7 名 (40.3%)
疑わしい	2 2 4 名 ( 9.5%)	1 6 1 名 ( 9.9%)
信じていない	3 8 1 名 (16.1%)	2 5 3 名 (15.5%)
知らない	8 6 名 ( 3.6%)	5 4 名 ( 3.3%)
A + B	1 6 5 8 名 (70.2%)	1 1 4 2 名 (70.1%)

③宗教系中学・高校と非宗教系中学・高校の比較

	[宗教系中学・高校]	[非宗教系中学・高校]
信じている (A)	2 0 7 名 (32.4%)	9 9 1 名 (29.5%)
ありうる (B)	2 4 7 名 (38.7%)	1 3 6 0 名 (40.4%)
疑わしい	5 3 名 ( 8.3%)	3 3 5 名 (10.0%)
信じていない	1 1 1 名 (17.4%)	5 2 5 名 (15.6%)
知らない	1 7 名 ( 2.7%)	1 2 3 名 ( 3.7%)
A + B	4 5 4 名 (71.2%)	2 3 5 1 名 (69.9%)

④性別による差

	[男性]	[女性]
信じている (A)	4 9 7 名 (28.8%)	7 0 2 名 (30.9%)
ありうる (B)	6 2 3 名 (36.1%)	9 8 3 名 (43.2%)
疑わしい	1 6 7 名 ( 9.7%)	2 2 1 名 ( 9.7%)
信じていない	3 7 4 名 (21.7%)	2 5 8 名 (11.3%)
知らない	6 0 名 ( 3.5%)	8 0 名 ( 3.5%)
A + B	1 1 2 0 名 (65.0%)	1 6 8 5 名 (74.1%)

※信じている者は、全体で約3割。5つの事柄の中では、もっとも高い割合を示す。

※全体の約7割が死後の世界の存在に肯定的。否定派は約4分の1。

※これは宗教系と非宗教系でほとんど差がない。

※男女差が一番大きく、女性の方が男性より肯定的である。



d. 「星占い」

①全体の傾向

信じている (A)	7 2 7 名 (18.2%)
ありうる (B)	1 0 0 7 名 (25.1%)
疑わしい	8 5 3 名 (21.3%)
信じていない	1 3 3 3 名 (33.3%)
知らない	5 7 名 ( 1.4%)
A + B	1 7 3 4 名 (43.3%)

②宗教系大学と非宗教系大学の比較

	[宗教系大学]	[非宗教系大学]
信じている (A)	3 8 7 名 (16.4%)	3 3 9 名 (20.8%)
ありうる (B)	6 2 5 名 (26.4%)	3 8 0 名 (23.3%)
疑わしい	4 8 5 名 (20.5%)	3 6 2 名 (22.2%)
信じていない	8 2 4 名 (34.9%)	5 0 5 名 (31.0%)
知らない	3 3 名 ( 1.4%)	2 4 名 ( 1.5%)
A + B	1 0 1 2 名 (42.8%)	7 1 9 名 (44.1%)

③宗教系中学・高校と非宗教系中学・高校の比較

	[宗教系中学・高校]	[非宗教系中学・高校]
信じている (A)	9 8 名 (15.4%)	6 2 9 名 (18.7%)
ありうる (B)	1 5 8 名 (24.8%)	8 4 8 名 (25.2%)
疑わしい	1 2 7 名 (19.9%)	7 2 5 名 (21.6%)
信じていない	2 3 8 名 (37.3%)	1 0 9 4 (32.5%)
知らない	1 5 名 ( 2.4%)	4 2 名 ( 1.2%)
A + B	2 5 6 名 (40.1%)	1 4 7 7 名 (43.9%)

④性別による差

	[男性]	[女性]
信じている (A)	1 9 9 名 (11.5%)	5 2 7 名 (23.2%)
ありうる (B)	3 4 8 名 (20.2%)	6 5 8 名 (28.9%)
疑わしい	3 5 2 名 (20.4%)	5 0 0 名 (22.0%)
信じていない	7 8 1 名 (45.3%)	5 4 8 名 (24.1%)
知らない	4 1 名 ( 2.4%)	1 6 名 ( 0.7%)
A + B	5 4 7 名 (31.7%)	1 1 8 5 名 (52.1%)

※信じている者は、全体で2割弱で、否定派がやや多い。

※宗教系か非宗教系による比較では、いずれの場合もあまり差がないが、宗教系中高の卒業の方が、わずかであるが、否定的な回答をする傾向にある。

※性別による差は顕著である。女性の方が、ずっと肯定的である。信じている者の割合は、男性の2倍強である。しばしば指摘される女性の占い好きは、この調査でも確認された。

e. 「ノストラダムスの予言」

①全体の傾向

信じている (A)	3 3 7 名 ( 8.4% )
ありうる (B)	1 2 6 0 名 (31.5% )
疑わしい	7 8 8 名 (19.7% )
信じていない	1 4 6 5 名 (36.6% )
知らない	1 2 6 名 ( 3.1% )
A + B	1 5 9 7 名 (39.9% )

②宗教系大学と非宗教系大学の比較

	[宗教系大学]	[非宗教系大学]
信じている (A)	1 8 2 名 ( 7.7% )	1 5 4 名 ( 9.5% )
ありうる (B)	7 4 7 名 (31.6% )	5 0 9 名 (31.2% )
疑わしい	4 5 5 名 (19.3% )	3 2 9 名 (20.2% )
信じていない	8 9 6 名 (37.9% )	5 6 6 名 (34.7% )
知らない	7 3 名 ( 3.1% )	5 2 名 ( 3.2% )
A + B	9 2 9 名 (39.3% )	6 6 3 名 (40.7% )

③宗教系中学・高校と非宗教系中学・高校の比較

	[宗教系中学・高校]	[非宗教系中学・高校]
信じている (A)	4 4 名 ( 6.9% )	2 9 3 名 ( 8.7% )
ありうる (B)	2 0 0 名 (31.3% )	1 0 6 0 名 (31.5% )
疑わしい	1 3 3 名 (20.8% )	6 5 4 名 (19.4% )
信じていない	2 3 6 名 (37.0% )	1 2 2 8 (36.5% )
知らない	2 2 名 ( 3.4% )	1 0 3 名 ( 3.1% )
A + B	2 4 4 名 (38.2% )	1 3 5 3 名 (40.2% )

④性別による差

	[男性]	[女性]
信じている (A)	1 3 5 名 ( 7.8% )	2 0 0 名 ( 8.8% )
ありうる (B)	4 5 8 名 (26.6% )	7 9 9 名 (35.1% )
疑わしい	3 2 1 名 (18.6% )	4 6 7 名 (20.5% )
信じていない	7 6 1 名 (44.1% )	7 0 2 名 (30.9% )
知らない	4 7 名 ( 2.7% )	7 9 名 ( 3.5% )
A + B	5 9 3 名 (34.4% )	9 9 9 名 (43.9% )

※信じている者は、全体で1割に満たない。

※全体ではおおよそ6：4の比率で、否定派の方が多い。5つの事柄のうちでは、否定的になる学生がもっとも多い。

※宗教系と非宗教系の学校ではほとんど差がない。

※性別では、女性の方がいくらか肯定派が増加する傾向にある。

※このような問に対しても、約4割が肯定派であるというところに、現代の学生が抱く未来への漠然たる不安を推測することができる。

## 2. どのような情報に関心をもつか

設問：「次の中に、あなたが比較的関心をもって見たり聞いたりするものがあれば、回答欄にある、その項目の番号を○で囲んで下さい」（複数回答可）

1. 超能力に関する民放テレビの特集番組
2. ブードゥー教など、世界の珍しい宗教についてのテレビ番組
3. 黒田みのるの心霊マンガ
4. 雑誌の占いのコーナー
5. トワイライトゾーン、ムーなどの雑誌
6. 雑誌に出てくる新（興）宗教についての記事
7. 大きな書店の宗教書コーナー
8. 三浦綾子、遠藤周作などの、キリスト教をテーマにした小説
9. 友人がする、霊やたたりの話
10. 祖父母や両親が話してくれる、昔からの言い伝え

宗教系と非宗教系で比較  
性別による差とも比較

### ①全体の傾向

超能力のテレビ番組	1 2 4 5 名 (31.1%)
珍しい宗教のテレビ番組	8 7 6 名 (21.9%)
心霊マンガ	1 3 2 名 ( 3.3%)
雑誌の占いのコーナー	2 2 2 3 名 (55.5%)
オカルト雑誌	3 8 8 名 ( 9.7%)
新宗教の雑誌記事	7 8 2 名 (19.5%)
書店の宗教書コーナー	2 4 5 名 ( 6.1%)
キリスト教がテーマの小説	4 9 7 名 (12.4%)
友人の霊やたたりの話	1 9 9 2 名 (49.7%)
家族がする昔からの言い伝え	1 3 9 4 名 (34.8%)

### ②宗教系大学と非宗教系大学の比較

	[宗教系大学]	[非宗教系大学]
超能力のテレビ番組	7 1 6 名 (30.3%)	5 2 6 名 (32.3%)
珍しい宗教のテレビ番組	5 9 8 名 (25.3%)	2 7 6 名 (16.9%)
心霊マンガ	7 5 名 ( 3.2%)	5 5 名 ( 3.4%)
雑誌の占いのコーナー	1 2 5 8 名 (53.2%)	9 5 9 名 (58.9%)
オカルト雑誌	2 4 2 名 (10.2%)	1 4 3 名 ( 8.8%)
新宗教の雑誌記事	5 4 9 名 (23.2%)	2 3 1 名 (14.2%)
書店の宗教書コーナー	1 9 5 名 ( 8.3%)	5 0 名 ( 3.1%)
キリスト教がテーマの小説	3 3 2 名 (14.0%)	1 6 4 名 (10.1%)
友人の霊やたたりの話	1 1 5 4 名 (48.8%)	8 3 0 名 (51.0%)
家族がする昔からの言い伝え	8 1 9 名 (34.7%)	5 7 0 名 (35.0%)

③宗教系中学・高校と非宗教系中学・高校の比較

	[宗教系中学・高校]	[非宗教系中学・高校]
超能力のテレビ番組	193名(30.3%)	1052名(31.3%)
珍しい宗教のテレビ番組	148名(23.2%)	727名(21.6%)
心霊マンガ	19名(3.0%)	113名(3.4%)
雑誌の占いのコーナー	314名(49.2%)	1909名(56.7%)
オカルト雑誌	50名(7.8%)	338名(10.0%)
新宗教の雑誌記事	147名(23.0%)	634名(18.8%)
書店の宗教書コーナー	41名(6.4%)	204名(6.1%)
キリスト教がテーマの小説	132名(20.7%)	365名(10.9%)
友人の霊やたたりの話	306名(48.0%)	1686名(41.2%)
家族がする昔からの言い伝え	202名(31.7%)	1191名(35.4%)

④性別による差

	[男性]	[女性]
超能力のテレビ番組	562名(32.6%)	681名(29.9%)
珍しい宗教のテレビ番組	401名(23.3%)	474名(20.8%)
心霊マンガ	48名(2.8%)	84名(3.7%)
雑誌の占いのコーナー	628名(36.4%)	1592名(70.0%)
オカルト雑誌	228名(13.2%)	157名(6.9%)
新宗教の雑誌記事	415名(24.1%)	365名(16.1%)
書店の宗教書コーナー	149名(8.6%)	96名(4.2%)
キリスト教がテーマの小説	136名(7.9%)	360名(15.8%)
友人の霊やたたりの話	794名(46.1%)	1194名(52.5%)
家族がする昔からの言い伝え	593名(34.4%)	798名(35.1%)

※全体として、もっとも関心をもっているのは、雑誌の占いのコーナーであり、過半数が、関心をもっている。

※次いで、友人がする霊やたたりの話、祖父母、両親が話す言い伝えに関心が高い。

※テレビ番組には、2～3割が関心を示す。超能力を扱った番組の方が、珍しい宗教を扱った番組より関心を集める。

※書籍への関心はテレビよりは高くない。宗教書コーナーに関心をもつのは約6%。オカルト雑誌への関心は約10%。キリスト教をテーマにした小説が約12%。

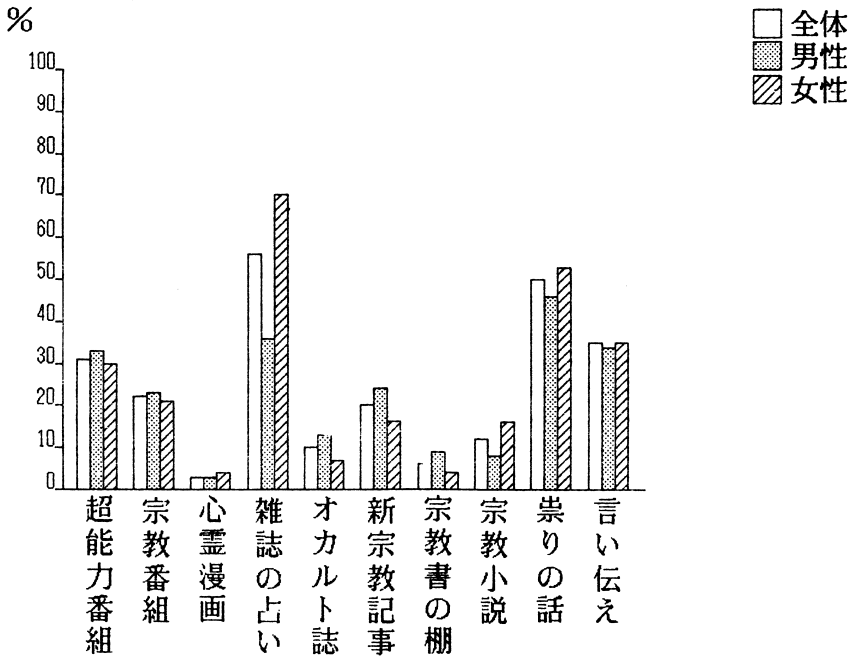
※新宗教関係への記事への関心は約2割なので、そう低いとは言えない。

※心霊劇画家として一部に知られる黒田みのるの漫画に関心をもつのは3%強だが、一人の漫画家で、この数字が出るのは少ないとは言えない。

※以上の結果は、宗教系と非宗教系であまり大きな差はない。ただし、宗教系の大学に通う者、また宗教系の中学・高校に通った者は、そうでない者より、宗教そのものについては、少しであるが関心が高い。呪術・オカルト的なものに関しては、逆にわずかながら低くなるものがある(心霊漫画、超能力の番組)。

※性別でもっとも差があるのは、占いへの関心とキリスト教をテーマとした小説への関心である。いずれも女性の方が倍近い数字となっている。これに対し、いわゆるオカルト・神秘に対しては、むしろ男性の方が関心がある。

[グラフ5]



## VI. 全体的分析

[ ( ) 内にⅡ4などとあるのは、本冊子で結果を紹介した項目の番号]

### ① 中学・高校における宗教教育について

- ・宗教教育は、知識面では有益と受け止められている。(Ⅱ4, Ⅱ5)
- ・宗教教育の効果は、あまり目に見えるものではないが、宗教施設などは印象深く記憶にとどめられている場合が多い。(Ⅱ3)
- ・高校で宗教系の学校に通った者は、大学も宗教系に進学する者が多い。これは宗教教育の効果もいくらかあろうが、基本的には現在の受験システムに影響を受けていると推測される。(Ⅲ1, Ⅲ3)
- ・宗教教団の立場に立てば、宗教系の学校の存在は、布教・教化の観点からは、一定の効果をもっていると推測される。(Ⅱ2)

### ② 宗教系中高に通った者とそうでない者との間での、宗教意識の比較

- ・宗教家の話を聞く必要があるとする割合が増えるなど、宗教への関心は増える方向に作用していると推測される。(Ⅱ5)
- ・宗教系の学校に通ったことで、宗教に対して肯定的になる傾向は強い。しかし、その結果、宗教意識に明確な変化をもたらすということは観察されない。(Ⅱ2)

### ③ 宗教系大学に在籍する者とそうでない者との間での、宗教意識の比較

- ・宗教所属などには違いがあるが、意識の上ではあまり差がない。とくに、超常現象・神秘的現象などに関しては、ほとんど差がない。(Ⅳ2, Ⅴ1, Ⅴ2)
- ・宗教系の大学の雰囲気は感じとっているが、それに対する反応はまちまち。自由回答の結果を参照すると、宗教系の中学・高校に比べて、否定的な意見がやや多い。(Ⅳ4)
- ・宗教系の大学は、関係宗教についての授業を必修としている場合が多いが、自由回答の結果を参照すると、その授業内容には、かなり不満が多い。その意味でむしろ逆効果になっている場合もあると推測される。

### ④ 超常現象・神秘的現象などに関する情報をどこから得て、どんな関心をもつか

- ・情報ルートとしては、友人からのものにもっとも関心を示す。(Ⅴ2)
- ・テレビ番組は、書籍よりも関心を集める。(Ⅴ2)
- ・超常現象・神秘的現象などへの関心は、事柄によって微妙な差異が観察される。死後の世界の存在へ肯定的な人は約7割とかなり高い。これがノストラダムスの予言となると約4割に減少する。また星占いなどのように、性別によって肯定的になる割合が相当異なる事柄もある。(Ⅴ1)

### ⑤ その他

- ・非宗教系の大学での回答結果が、現在の大学生の宗教意識に近いと想定されるが、それによれば、宗教を信じるのが約1割。信じてはいないが関心があるのが約35%。宗教を積極的に否定するのは20~25%程度。(Ⅳ2~Ⅳ5)  
また宗教的感情を大事にするのが約25%。宗教に関する情報に興味をもつのが約1割。この点については、非宗教系大学の回答者であっても、宗教に関係した授業の聴講者である場合が比較的多いので、その影響も無視できない。ただし、宗教について論ずる講義を聞いて、宗教に関する意識・態度がどの程度変わるかは、教員の資質・個性に関係すると考えられるので、これを測定する有効な手がかりを得るのは難しい。(Ⅲ3)
- ・総じて、学生の間における宗教への関心は、けっこう高いとみなすべきであろう。

## あとがき

国学院大学日本文化研究所の「宗教と教育に関する調査研究」プロジェクトは1990年度より開始された。近代及び現代日本の宗教教育に関する資料・データ類を収集し、同時に実態調査も行ない、多角的な視点からこの問題を分析することを目的としている。このアンケート調査は、その一環として行なわれたものである。

アンケート実施に当たっては、多くの大学教員にご協力を得た。実施大学とご協力いただいた方々のお名前は、以下に掲げる通りである。また、調査票の配付・回収、データ入力作業等については、井腰圭介、奥山倫明、河野恒心、鷹まどか、田口めぐみ、福谷理佳の各氏にご協力を得た。この場をお借りし、感謝の言葉を申し述べたい。

大学名（五十音順。なおカッコ内は調査した大学・学部の所在都道府県名）

愛知学院大学（愛知）	専修大学（神奈川）
明の星女子短期大学（埼玉）	創価大学（東京）
跡見学園女子大学（埼玉）	大正大学（東京）
いわき短期大学（福島）	帝京大学（東京）
神奈川大学（神奈川）	天理大学（奈良）
関西学院大学（兵庫）	東海女子短期大学（岐阜）
皇学館大学（三重）	東海大学（神奈川）
国学院大学（東京）	東京学芸大学（東京）
駒沢大学（東京）	東洋英和女学院大学（神奈川）
城西大学女子短期大学部（埼玉）	日本女子大学（神奈川）
上智大学（東京）	富士フェニックス短期大学（静岡）
聖心女子大学（東京）	法政大学（東京）
聖真学園女子短期大学（茨城）	松山大学（愛媛）
清泉女子大学（東京）	明治学院大学（東京）
西南女学院短期大学（福岡）	立教大学（東京）
淑徳大学（千葉）	龍谷大学（京都）

協力者氏名（五十音順）

赤池憲昭氏（愛知学院大学）	寺川俊昭氏（龍谷大学）
浅山龍一氏（創価大学）	鳥井由紀子氏（東海大学）
洗 建 氏（駒沢大学）	中野 毅氏（創価大学）
安齋 伸氏（上智大学）	中別府温和氏（西南女子学院大学）
石井研士氏（国学院大学）	中牧弘允氏（国立民族学博物館）
岩男耕三氏（神奈川大学）	林 淳 氏（愛知学院大学）
川村邦光氏（天理大学）	藤井健志氏（東京学芸大学）
木村登次氏（東海女子短期大学）	藤田富雄氏（神奈川大学）
古賀和則氏（龍谷大学）	古家信平氏（東海大学）
佐久間賢氏（神奈川大学）	松村一男氏（天理大学）
桜井治男氏（皇学館大学）	矢崎浩之氏（いわき短期大学）
脊古真哉氏（東海女子短期大学）	山岡隆晃氏（駒沢大学）
高橋一郎氏（創価大学）	山本修一氏（創価大学）
丹野 勲氏（神奈川大学）	弓山達也氏（法政大学）
月本昭男氏（立教大学）	脇本平也氏（駒沢大学）
対馬路人氏（関西学院大学）	渡辺和子氏（東洋英和女学院大学）
土屋昌明氏（富士フェニックス短期大学）	渡辺雅子氏（明治学院大学）

発行者

国学院大学日本文化研究所 井上順孝

〒150 東京都渋谷区東4-10-28

TEL 03-5466-0355 (直通)

発行日

1993年1月20日